

Windows 11の概要とUpgrade 可否確認方法

2021年10月23日 河出 修

[はじめに]

- ★Windows 10 の後継OSである Windows 11 が2021年10月5日より提供が開始されました。
- ★現在広く使われている Windows 10 のサポートが2025年10月14日で終了することが発表された。
- ★お手持ちのPCの状況によっては、新しいWindows 11パソコンを新規購入するか、OSをWindows 11 にアップグレードする必要があります。(2025年10月14日以降)

I . Microsoft社の製品サポート終了時期

Windows 製品	サポート終了時期	Office 製品	サポート終了時期
Windows 7	2020/1/14	Office 2010	2020/10/13
Windows 8.1	2023/1/10	Office 2013	2023/4/11
Windows 10	2025/10/14	Office 2016	2025/10/14
Windows 11	2021/10/5提供開始	Office 2019	2025/10/14

II . Windows 11の特徴は、公式サイトによると、以下の11点になる。

1. 落ち着きと安らぎを感じさせるモダンでフレッシュ、クリーン、そして美しい「デザイン」と「サウンド」
2. クラウドとMicrosoft 365によって最新のファイルをリストアップする中央配置になった「スタート画面」
3. 画面の効率的な利用とマルチタスクを最適化する「スナップレイアウト」「スナップグループ」「デスクトップ」
4. 人と手軽に繋がることができるタスクバーに統合されたTeamsベースの「チャット」
5. 関心のある情報に素早くアクセスできる「ウィジェット」と、高速かつ生産性向上に寄与する「Microsoft Edge」
6. 「DirectX12 Ultimate」「DirectStorage」「Auto HDR」などの技術による過去最高のゲーム用Windows。Xbox Game Passによるサブスクリプション型ゲームプレイ環境の提供
7. アプリ、ゲーム、ドラマ、映画を入手できる新デザインの「Microsoft Store」(Androidアプリの提供は今後数カ月のWindows Insider プレビューから開始)
8. 障害を持つ人々によって、障害を持つ人々のために設計された新しい「アクセシビリティ」
9. より多くの開発者とISVに対して開かれたMicrosoft Storeと「開発者ツール」
10. 速度、効率、エクスペリエンスが向上した「タッチ」「デジタルペン」「音声入力」
11. 「セキュリティ」や管理に配慮されたハイブリッドワーク
(自宅、オフィス、学校、およびその間のあらゆる場所で仕事や学習を実現する働き方)のためのOS

★上記内容は今後情報を集めて、みなさんにお知らせしてゆきます。

III . Windows 11へUpgrade可能かチェックするプログラム

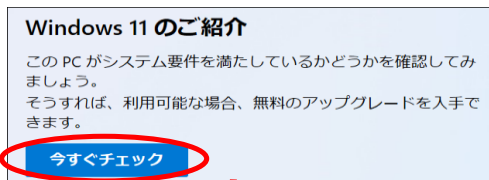
★Microsoft社「PC 正常性チェック」ツール

●下記URLからダウンロードし、インストールする。

<https://aka.ms/GetPCHealthCheckApp>



起動アイコン

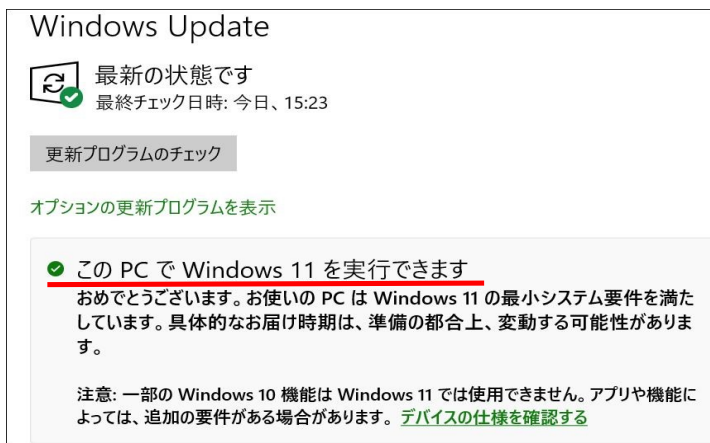


★条件を満たしている場合



★条件を満たしていない場合

IV. Windows 11へUpgrade可能な場合

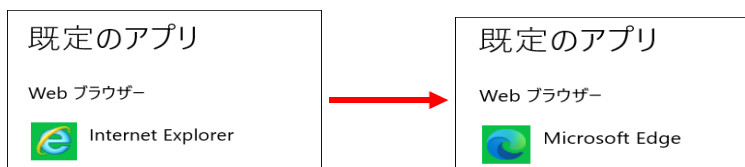


- ★「スタートボタン」→「設定」→「更新とセキュリティ」→「Windows Update」
- ★「このPCでWindows 11を実行できます」と表示されたら「Windows 11」にUpgradeが可能です。
- ★「Windows 11」の配信が可能になれば教えてくれるはずです。
- ★「Windows 11」の内容がよくわからない場合は Upgradeを急いでやる必要はありません。

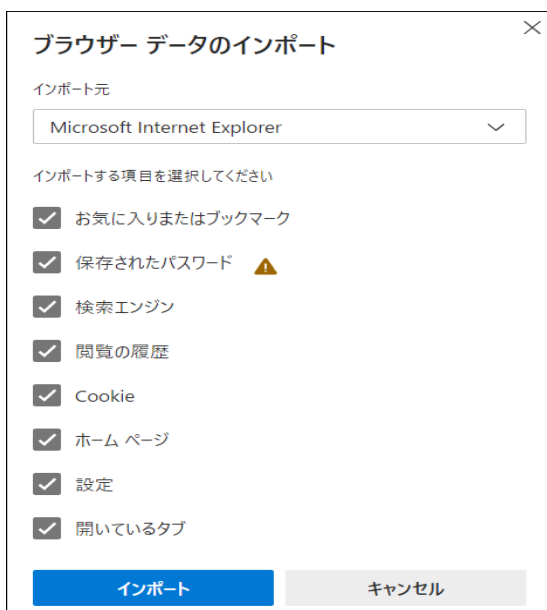
V. 「Internet Explorer」を「Microsoft Edge」に切り替えましょう

- ★Internet Explorer は2022年6月16日でサポートが終了します。それ以後は、Internet Explorer を起動すると Microsoft Edge が立ち上がる。

- ★「スタートボタン」→「設定」→「既定のアプリ」を変更する。



- ★お気に入り、パスワード、その他のブラウザー データをすばやくインポートできる。
- ★「Microsoft Edge」を起動する。
右上にある「…」(設定)をクリック→「ブラウザデータのインポート」→「インポートする項目を選択してください」→「インポート元」を選択→「インポートする項目にチェックする」→「インポート」ボタンを押す。



- ★「インポート」ボタンを押すと☑した項目がインポートされる。
- ★「Microsoft Edge」は「Internet Explorer」より画面表示速度が速いし、セキュリティ等も強化されている。